

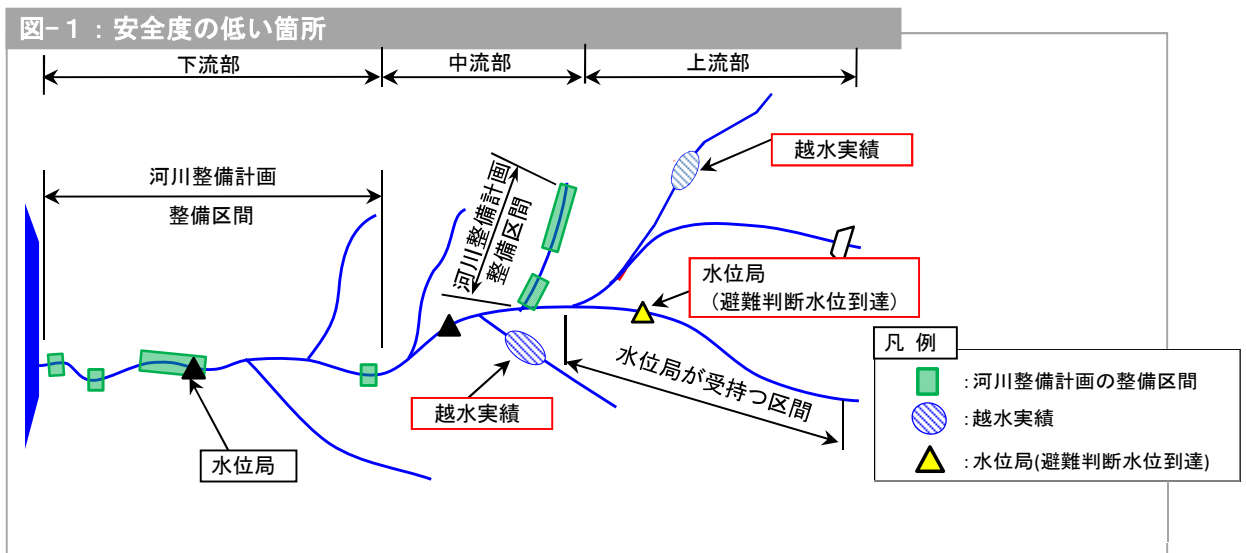
河川中上流部治水対策

河川中上流部のうち、近年、越水による家屋や公共施設の浸水実績があるなど、治水安全度の低い箇所において、上下流バランスに配慮しながら、現地の状況を踏まえた適切な治水安全度向上対策を、地域総合治水推進計画に位置づけた上で、5箇年の緊急対策として推進する。

治水安全度向上対策	事業期間：H28～H32 年度
	事業箇所：約 50 箇所
	所要額：各年度約 4 億円（総額約 20 億円）

1 安全度の低い箇所とは ※河川整備計画なし

- (1) 家屋等（病院や道路等公共施設を含む）で浸水実績がある箇所
- (2) 水位局において避難判断水位を超えた実績のある箇所

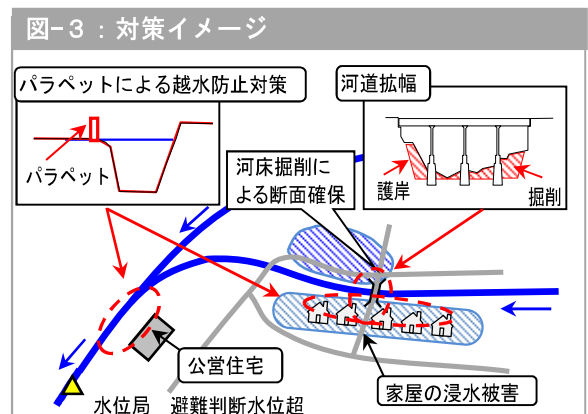
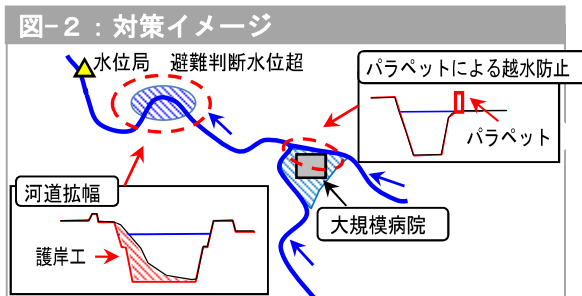


2 治水安全度向上対策

上下流バランスに配慮した即効的対策（原則として用地買収を伴わない）

イ. 河道拡幅（河床掘削、護岸工、河道内樹木の伐採等）

ロ. パラペットによる越水防止



【参考】 河川中上流部治水対策 実施箇所(検討予定箇所含む)

凡例

● 実施箇所

● 検討予定箇所



八木川 (H28年度着手)

円山川流域	
竹野川流域	
須井川流域	
安木川流域	
佐津川流域	
上計川流域	
香住谷川流域	

矢田川流域	
長谷川流域	
西川流域	
岸田川流域	
大栃川流域	
結川流域	
直接放流域	